

公益財団法人神奈川芸術文化財団
神奈川芸術プレス制作業務委託 仕様書

1. 目的

本仕様書（以下「仕様書」という。）は公益財団法人神奈川芸術文化財団（以下「甲」という。）と受託者（以下「乙」という。）が甲の神奈川芸術プレス制作業務（以下「本業務」という。）委託の実施に関して、標準的な事項を定めることにより、本業務を効果的かつ効率的に遂行することを目的とする。

2. 業務実施方針

(1) 基本方針

当財団が指定管理者として運営する神奈川県民ホール本館、神奈川芸術劇場、県立音楽堂などの施設や事業に関する情報提供および神奈川県の文化芸術の拠点として、舞台芸術を中心に幅広い分野の情報収集を行い、それらを情報誌として企画・編集・デザインし、紙媒体として発行することを通じて甲の認知度向上に資する。具体的には以下の2つのコンセプトを実現させることとする。

<コンセプト>

- ① 県内で実施された芸術文化や文化施設に関する情報を専門的視点でレビューしていく情報誌
- ② 文化芸術のみならず幅広いジャンルを取り入れた読み応えのある特集やレポート記事を掲載

(2) 紙面作成上の留意点

ア 分かりやすく読みやすい紙面

- ・ユニバーサルデザインに配慮し、あらゆる読者層を意識した見やすい文字の大きさ、色使いをすること
- ・情報を詰めすぎず、視認性を確保し、必要に応じてルビをつけること

イ 神奈川県域全体の文化情報を掲載

- ・県下の地域が偏ることなく、各地域の文化情報をバランスよく取り込んだ企画を立案すること
- ・魅力的で持続可能な連載が掲載されていること

ウ 企画に取り入れるジャンルの幅の広さ

- ・社会問題と芸術文化の話題をバランスよく入れた特集テーマの設定をすること
- ・芸術文化に限らず神奈川県下の施設、事象、人物の記事をバランスよく取り入れること

- ・新規読者獲得を意識し、芸術文化以外の幅広いジャンルを取り扱うこと
- エ 認知度向上のための取り組み
 - ・読者の声を反映し、冊子の認知度をあげていくこと

3. 業務内容

(1) 企画・取材・編集・デザイン業務

- ・企画・編集
 - 企画を立案し、当財団と共同で協議、確定後に取材、執筆を行う
 - 企画立案は自社で行うこと。取材、執筆については外注も可能ですが、自社で直接手配すること。
- ・デザイン、表紙イラスト手配
 - 記事のレイアウト及び、特集に応じた表紙イラストレーションの手配
 - デザイン・イラストレーションは外注も可能ですが、自社で直接手配すること。
- ・その他
 - 原稿入稿後、3回の校正後、色校出力、当財団が指定した印刷会社にデータ入稿
 - 校正ごとに追加原稿が入る場合あり

(2) 完成版データ及びPDFデータの納品

- ・当財団ウェブサイトへの掲載用としてPDFデータを納品
- ・冊子と同内容を掲載したウェブサイト版神奈川芸術プレス作成のため、当財団が指定したウェブ制作会社に校了したInDesignデータを納品。ウェブサイト版神奈川芸術プレスのテストページの監修業務（取材対象者・執筆者等へのページ確認）。監修業務に掛る費用は本業務とは別契約で行う。

(3) 上記(1)～(2)の進行管理

各業務が遅滞なく進行するように管理

4. 印刷物規格

版形：A4判 全24ページ

色数：全ページ フルカラー 4色

発行：年2回 令和5年9月下旬、令和6年3月下旬

2年目以降も9月と3月に発行 3年間で計6回発行

色校：本紙色校1回

部数：18,000部予定（必要に応じて増減する場合有）

価格：無料配布

5. その他

- ・業務遂行上疑義が生じた場合は、甲と協議を行い、解決を図ること。

- ・イラスト、ロゴ等の利用にあたっては、第三者の著作権を侵害しないこと。
- ・本業務の実施により得られた成果、情報、素材等については、甲に帰属すること。